

8.11 景観

8.11.1 現況調査

(1) 調査内容

調査内容は、表 8.11-1 に示すとおりである。

表 8.11-1 調査内容（景観）

No.	内 容
1	景観資源の状況 (1) 自然的景観資源、文化的景観資源の分布 (2) 景観資源の特性（地形、植生、その他景観資源を構成する要素の状況）
2	主要な眺望地点の状況 (1) 眺望点の位置、利用状況、眺望特性 (2) 主要な眺望地点からの眺望の状況

(2) 調査方法

1) 既存資料調査

調査方法は、表 8.11-2 に示すとおりである。

表 8.11-2 調査方法（景観：既存資料調査）

No.	項 目	内 容
1	景観資源の状況	以下の文献その他の資料により、当該情報の整理及び解析を行った。 ・「平成 28 年度仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」 (平成 29 年、仙台市)
2	主要な眺望地点の状況	・杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選（平成 28 年 9 月 20 日更新、仙台市）

2) 現地調査

調査方法は、表 8.11-3 に示すとおりである。

表 8.11-3 調査方法（景観：現地調査）

No.	項目	内容
1	景観資源の状況	<ul style="list-style-type: none">・景観資源と想定される送電鉄塔の関係について現地踏査により確認した。・景観資源の眺望景観について写真撮影を行った。（一眼レフデジタルカメラ（APS-C）で焦点距離 19mm（水平画角 63° : 35mm フィルム 29mm レンズ相当）で撮影）
2	主要な眺望地点の状況	<ul style="list-style-type: none">・主要な眺望点からの眺望景観の想定される送電鉄塔の関係について現地踏査により確認した。・主要な眺望点からの眺望景観について写真撮影を行った。（一眼レフデジタルカメラ（APS-C）で焦点距離 19mm（水平画角 63° : 35mm フィルム 29mm レンズ相当）で撮影）

(3) 調査地域等

1) 既存資料調査

調査地域は、概況調査範囲のうち、事業計画地から約 2.5km*の範囲とした。

※表 8.11-4 「景観対策ガイドライン」（昭和 56 年 UHV 送電特別委員会環境部会）で視覚的变化の程度が小さいとされる見込み角 2° となる距離

2) 現地調査

ア. 調査地域

調査地域は概況調査範囲のうち、建造物等は事業計画地から 1.0km、その他は 2.5km の範囲とした。

イ. 調査地点

① 景観資源の状況

景観資源の特性を踏まえて構造物は近景の 1km、風景は中景の 2.5km 範囲として、表 8.11-5 及び図 8.11-1 に示す自然的景観資源 10 地点、文化的景観資源 10 地点を候補とした。

② 主要な眺望地点の状況

観光地や生活の場など不特定多数の人から利用される主要な眺望点として、表 8.11-5 及び図 8.11-2 に示す 15 地点を候補とした。

表 8.11-4 構造物の景観対策ガイドライン

見込角	距離(m)	構造物の見え方(鉄塔の場合)
0.5°	9、200	少しかすんでいて、輪郭がやっとわかる程度。
1°	4、600	十分見えるけれど、景観的にはほとんど気にならない。ガスがかかって見えにくい。
1.5~2°	3、000~2、300	シルエットになっている場合にはよく見え、場合によっては景観的にやや気になり出す。シルエットにならず、さらに環境融和塗色がされている場合には、ほとんど気にならない。光線の加減によっては見えないこともある。
3°	1、500	比較的細部まで見えるようになり、気になりだす。圧迫感は受けない。
5~6°	900~800	やや大きく見え、景観的に気になることもあるが、支配的でない。
10~12°	500~400	眼に大きくうつるが、圧迫感は余りない。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては支配的な存在になる。
20°	200	見上げるような仰角になり、圧迫感も強くなる。

出典：「景観対策ガイドライン」（昭和56年UHV送電特別委員会環境部会）

表 8.11-5 景観調査地点

区分	No.	名称	種別	景観特性	所在地
自然的景観資源	1	白岩	断崖・絶壁	近・中景	太白区秋保町馬場
	2	白岩(上流)	〃	〃	〃
	3	七北田ダム周辺	河川	〃	泉区福岡字蒜但木
	4	花輪川	〃	〃	泉区根白石
	5	戸神山	非火山性孤峰	近・中・遠景	太白区秋保町長袋
	6	名取川中流大滝付近	峡谷・溪谷	近・中景	太白区秋保町馬場
	7	広瀬川中流熊ヶ根棒目木間	〃	〃	青葉区熊ヶ根棒目木
	8	大倉川大倉ダム下流	〃	〃	青葉区大倉岩下
	9	根白石七北田川中流	河成段丘	〃	泉区根白石
	10	落合・愛子・白沢広瀬川畔	〃	近・中・遠景	青葉区熊ヶ根棒目木～栗生
文化的景観資源	11	小滝沢橋	建造物	近景	太白区秋保町馬場
	12	青下第1ダム	〃	〃	青葉区熊ヶ根字大原道
	13	青下第1ダム取水塔	〃	〃	〃
	14	青下隧道入口	〃	〃	青葉区熊ヶ根字大原新田
	15	青下第2ダム	〃	〃	青葉区熊ヶ根字大原道
	16	青下第3ダム	〃	〃	青葉区大倉字前原
	17	青下量水堰	〃	〃	青葉区大倉字西原
	18	青下ダム旧管理事務所	〃	〃	青葉区熊ヶ根字大原道
	19	青下ダム記念碑	〃	〃	〃
	20	中原系苦地取水口	〃	〃	青葉区芋沢字中田西
眺望点	21	戸神山	非火山性孤峰	近・中景	太白区秋保町長袋
	22	ニッカウキスキー工場	レク施設等	中景	青葉区ニッカ
	23	秋保大滝	〃	〃	太白区秋保町馬場
	24	秋保大滝パノラマの道付近	遊歩道	〃	〃
	25	秋保大滝植物園	レク施設等	〃	〃
	26	七北田ダム公園	公園	近・中景	泉区福岡字蒜但木
	27	大倉ダム(大倉湖畔公園)	公園	〃	青葉区大倉岩下
	28	鳳鳴四十八滝	滝	〃	青葉区作並字棒目木
	29	秋保神社	レク施設等	中景	太白区秋保町長袋
	30	根白石	集落	〃	泉区根白石
	31	住吉台	〃	〃	泉区住吉台
	32	みやぎ台	〃	〃	青葉区みやぎ台
	33	赤坂	〃	〃	青葉区赤坂
	34	熊ヶ根	〃	近・中景	青葉区熊ヶ根
	35	上愛子道半	〃	中景	青葉区上愛子字道半

- 注) 1. 景観特性の欄は、近・中・遠景からの景観資源が「見られ方」、眺望点は「見え方」を示す。
 2. 景観資源の建造物は近景(1.0km以内)、景観資源の風景及び眺望点は中景(2.5km以内)として抽出した。

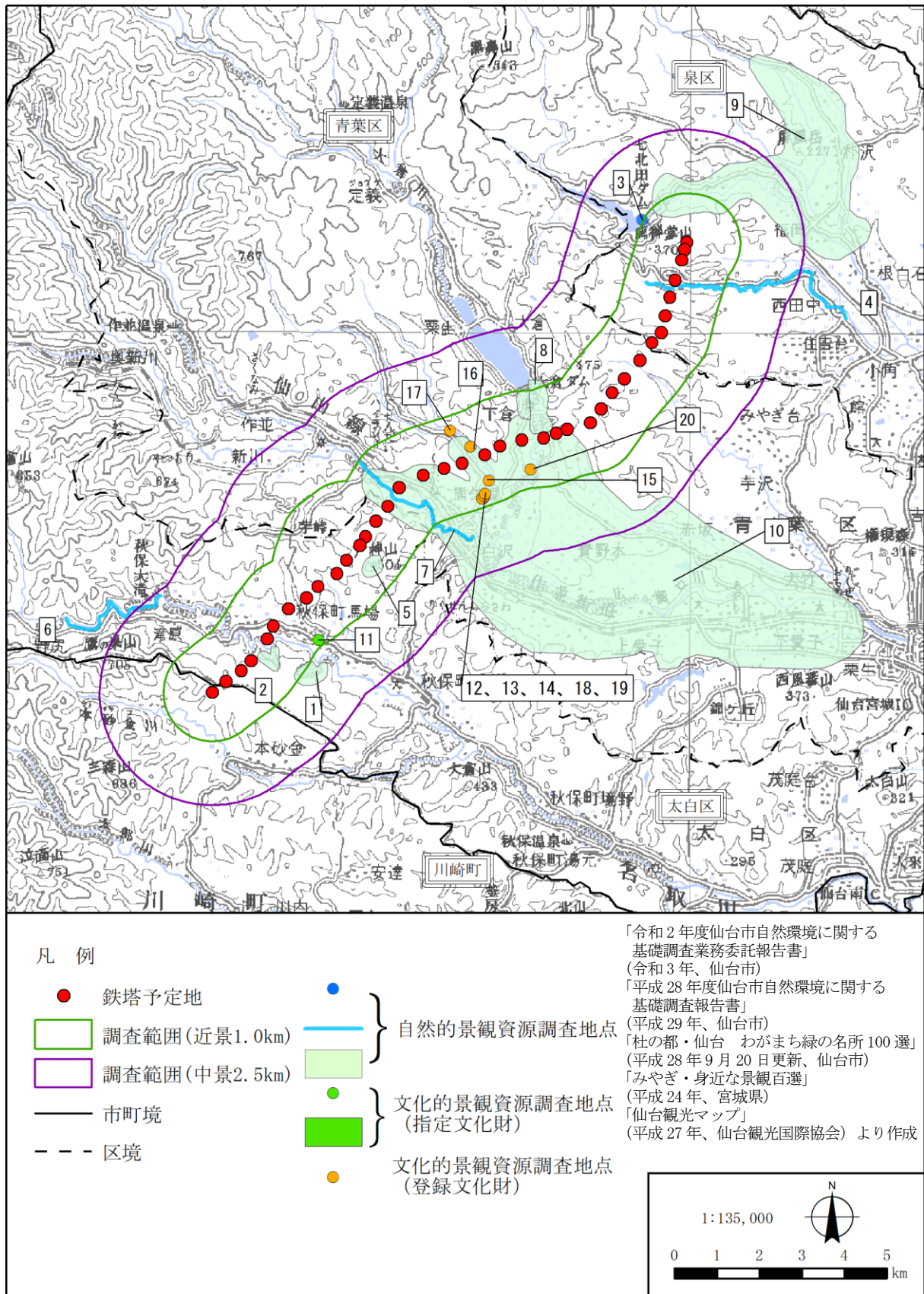
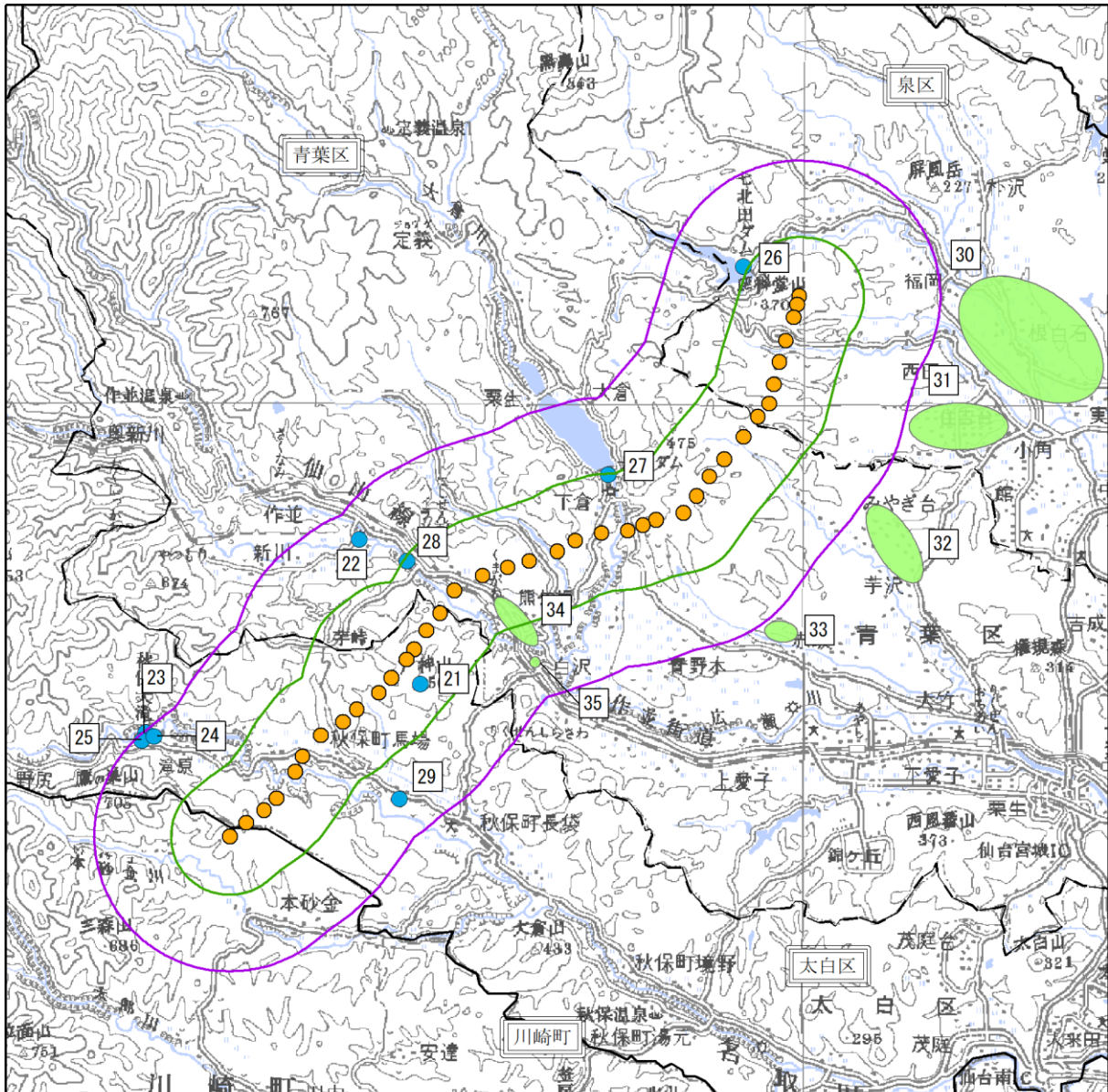


図 8.11-1 景観の調査及び予測地点 (景観資源)



凡 例

- 鉄塔予定地
- 公園・レクリエーション施設等調査地点
- 調査範囲(近景1.0km)
- 既存集落調査地点
- 調査範囲(中景2.5km)
- 市町境
- 区境

「平成 28 年度仙台市自然環境に関する
 基礎調査報告書」
 (平成 29 年、仙台市)
 「杜の都・仙台 わがまち緑の名所 100 選」
 (平成 28 年 9 月 20 日更新、仙台市)
 「仙台観光マップ」
 (平成 27 年、仙台観光国際協会) より作成

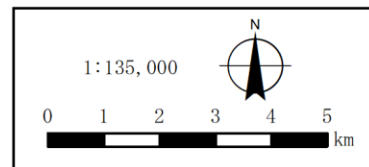


図 8.11-2 景観の調査及び予測地点 (眺望点)

(4) 調査期間等

1) 既存資料調査

調査期間等は、入手可能な最新の時期とした。

2) 現地調査

調査時期は、利用状況を踏まえ春季、夏季及び秋季の3回とした。

調査期間は、表 8.11-6 に示すとおりである。

表 8.11-6 調査期間（景観：現地調査）

時 期	調査期間
春季	平成 31 年 5 月 23、24 日
夏季	平成 31 年 7 月 31 日、8 月 17、18 日
秋季	平成 31 年 10 月 23、31 日、11 月 6、8 日

(5) 調査結果

1) 既存資料調査

対象事業計画地及びその周辺における自然的並びに文化的景観資源及び眺望点の分布状況は、「第 6 章 地域の概況 6.1 自然的状況、6.1.5 景観等」に示すとおりである。

2) 現地調査

ア. 景観資源及び主要な眺望地点の状況

景観資源と送電鉄塔の関係は表 8.11-7 に示すとおりであり、送電鉄塔とともに視認される可能性がある景観資源として 4 地点を選定した。また、主要な眺望点からの眺望景観と送電鉄塔との関係は表 8.11-8 に示すとおりであり、観光客や生活の場などの不特定多数の人から眺望される地点として 6 地点を選定した。

眺望点の可視領域及び写真撮影地点は図 8.11-3、眺望景観は図 8.11-4～13 に示すとおりである。

表 8.11-7 景観資源の調査結果

区分	No.	名称	景観資源の位置	アクセス	視認状況(視野角)
自然的景観資源	1	白岩	名取川沿いの太白区秋保町馬場付近	県道 62 号	景観資源との視認範囲に送電鉄塔はない。
	2	白岩(上流)			景観資源と既設鉄塔とともに送電鉄塔が視認されるものと推測される。(5.7°)
	3	七北田ダム周辺	泉区福岡字蒜但木の七北田ダム周辺	県道 263 号	景観資源の視認方向に送電鉄塔はない。
	4	花輪川	花輪川沿いの泉区根白石付近	台市道大満寺町頭幹線	景観資源の岩肌が白い崖の視認範囲に送電鉄塔はない
	5	戸神山	太白区秋保町長袋	国道 457 号	景観資源と既設鉄塔とともに送電鉄塔が視認される可能性がある。(2.2°)
	6	名取川中流大滝付近	名取川の太白区秋保町馬場付近	県道 62 号	景観資源の視認方向に送電鉄塔はない。
	7	広瀬川中流熊ヶ根棒目間	広瀬川の青葉区熊ヶ根棒目木付近	国道 48 号	景観資源の渓谷と既設鉄塔とともに送電鉄塔が視認されるものと推測される。(5.4°)
	8	大倉川大倉ダム下流	大倉川の青葉区大倉岩下	県道 55 号	景観資源の渓谷と既設鉄塔とともに送電鉄塔が視認されると推測される。(3.3°)
	9	根白石七北田川中流	泉区根白石付近の段丘崖	国道 457 号及び県道 263 号	景観資源の段丘崖の植生とともに送電鉄塔は視認されない。
	10	落合・愛子・白沢広瀬川畔	青葉区熊ヶ根棒目木～栗生付近の段丘崖	国道 48 号及び県道 55 号	
文化的景観資源	11	小滝沢橋	太白区秋保町馬場の旧県道 62 号	県道 62 号	景観資源の視認範囲に送電鉄塔はない。
	12	青下第 1 ダム	仙台市水道記念館敷地	仙台市道熊ヶ根青下線	
	13	青下第 1 ダム取水塔			
	14	青下隧道入口			
	15	青下第 2 ダム			
	16	青下第 3 ダム	青下川の青葉区大倉前原付近		立ち入りできない。 景観資源とともに送電鉄塔は視認されない。
	17	青下量水堰	仙台市水道記念館敷地	仙台市上水道施設で立ち入りできない	景観資源の視認範囲に送電鉄塔はない。
	18	青下ダム旧管理事務所			
	19	青下ダム記念碑			
	20	中原系苦地取水口	青葉区芋沢字中田西	仙台市上水道施設で立ち入りできない	

注) 1. No. の は景観資源とともに送電鉄塔が視認される可能性があることを示す。
 2. 視認状況(視野角)は、撮影箇所から送電鉄塔に対する視野角であり、送電鉄塔高さを 85m として計算した。

表 8.11-8 主要な眺望点の調査結果

区分	No.	名称	眺望点の位置	アクセス	視認状況(視野角)
眺望点	21	戸神山	太白区秋保町馬場の農道	国道 457 号	山頂の東側(仙台市方向)に眺望が開けており、送電鉄塔は北側に位置するが、樹木により視認されない。
	22	ニッカ	ニッカウキスキー工場駐車場	国道 48 号	利用場所の東側に送電鉄塔が位置するが、利用場所からは視認できない
	23	秋保大滝	不動滝橋	県道 62 号	利用場所の東側に送電鉄塔が位置するが、利用場所からは視認できない
	24	秋保大滝パノラマの道付近	秋保大橋	県道 62 号	利用場所の南東側に既設鉄塔群とともに中景として送電鉄塔が視認される可能性がある。(1.8°)
	25	秋保大滝植物園	秋保大滝植物園駐車場	県道 62 号	利用場所の東側に送電鉄塔が位置するが、利用場所からは視認できない
	26	七北田ダム公園	七北田ダム公園駐車場	県道 263 号	利用場所の南東側に送電鉄塔が位置するが、利用場所からは視認できない
	27	大倉ダム(大倉湖畔公園)	大倉湖畔公園	県道 55 号	利用場所の南東側に既設鉄塔とともに中景として送電線が視認される可能性がある。(3.0°)
	28	鳳鳴四十八滝	鳳鳴四十八滝眺望場所	国道 48 号	利用場所の東側に送電鉄塔が位置するが、利用場所からは視認できない
	29	秋保神社	秋保神社駐車場	県道 62 号	利用場所の北西側に中景として送電鉄塔が視認される可能性がある。(2.4°)なお、既設鉄塔は視認されない。
	30	根白石	泉区根白石憩いの家	国道 457 号	生活の場から西側に既設鉄塔群とともに遠景として送電鉄塔が視認される可能性がある。(1.1°)
	31	住吉台	住吉台四丁目公園	国道 457 号	生活の場から西側に既設鉄塔とともに遠景として送電鉄塔が視認される可能性がある。(1.4°)
	32	みやぎ台	青葉区みやぎ台一帯	国道 457 号	生活の場の西側に送電鉄塔が位置するが、地形や構造物により送電鉄塔は視認されない。
	33	赤坂	青葉区赤坂一帯	県道 55 号	
	34	熊ヶ根	熊ヶ根駅前	国道 48 号	生活の場から北西側に既設鉄塔とともに近・中景として送電鉄塔が視認されると推測される。(6.0°)
	35	上愛子道半	青葉区上愛子字道半一帯	国道 48 号	生活の場の北西側に送電鉄塔が位置するが、地形や構造物により視認されない。

注) 1. No. の は送電鉄塔が視認される可能性のある眺望点を示す。
 2. 視認状況(視野角)は、撮影箇所から送電鉄塔に対する視野角であり、送電鉄塔高さを 85m として計算した。

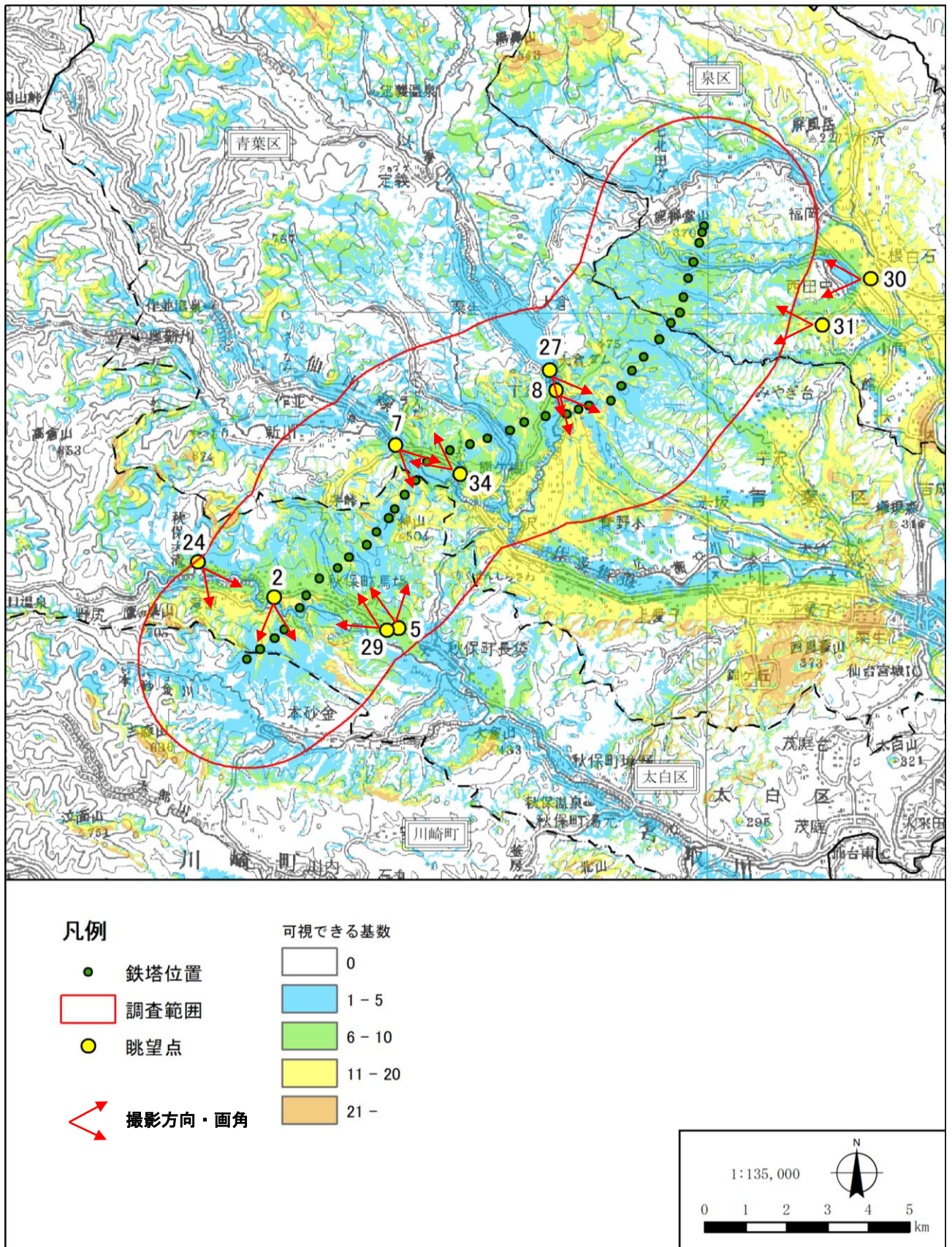


図 8.11-3 可視領域及び写真撮影地点

	<p>春季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/320 絞り：F9</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 5月 23日 10:37</p> <p><u>撮影位置</u></p> <p>経度：140.62918 緯度：38.27071</p>
	<p>夏季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/250 絞り：F8</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 8月 17日 14:32</p>
	<p>秋季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/400 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 11月 6日 12:30</p>

図 8.11-4 No.2 白岩(上流)

	<p>春季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/400 絞り：F8</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 5 月 23 日 14:00</p> <p><u>撮影位置</u></p> <p>経度：140.66388 緯度：38.26401</p>
	<p>夏季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/400 絞り：F10</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 8 月 17 日 14:16</p>
	<p>秋季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/800 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 10 月 31 日 8:24</p>

図 8.11-5 No.5 戸神山

	<p>春季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/320 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 5月 24日 11:30</p> <p><u>撮影位置</u></p> <p>経度：140.66291 緯度：38.30431</p>
	<p>夏季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/250 絞り：F8</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 8月 17日 15:29</p>
	<p>秋季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/400 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 11月 8日 10:08</p>

図 8.11-6 No.7 広瀬川中流熊ヶ根棒目木間

	<p>春季</p> <p><u>撮影情報</u> ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/250 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u> 令和元年 5月 24日 13:10</p> <p><u>撮影位置</u> 経度：140.70764 緯度：38.31648</p>
	<p>夏季</p> <p><u>撮影情報</u> ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/320 絞り：F9</p> <p><u>撮影年月日</u> 令和元年 8月 17日 13:38</p>
	<p>秋季</p> <p><u>撮影情報</u> ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/500 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u> 令和元年 11月 8日 10:26</p>

図 8.11-7 No.8 大倉川大倉ダム下流

	<p>春季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/250 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 5月 23日 14:33</p> <p><u>撮影位置</u></p> <p>経度：140.60778 緯度：38.27837</p>
	<p>夏季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/320 絞り：F9</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 8月 18日 13:31</p>
	<p>秋季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/500 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 11月 6日 12:42</p>

図 8.11-8 No. 24 秋保大滝パノラマの道付近

	<p>春季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/400 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 5月 24日 13:00</p> <p><u>撮影位置</u></p> <p>経度：140.70687 緯度：38.32084</p>
	<p>夏季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/320 絞り：F9</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 8月 17日 13:21</p>
	<p>秋季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/400 絞り：F10</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 11月 8日 10:51</p>

図 8.11-9 No. 27 大倉ダム(大倉湖畔公園)



春季

撮影情報

ニコン D5500
 焦点距離：19mm
 シャッタースピード：1/500
 絞り：F8

撮影年月日

令和元年 5月 23日 14:15

撮影位置

経度：140.66064
 緯度：38.26348



夏季

撮影情報

ニコン D5500
 焦点距離：19mm
 シャッタースピード：1/800
 絞り：F11

撮影年月日

令和元年 7月 31日 11:17



秋季

撮影情報

ニコン D5500
 焦点距離：19mm
 シャッタースピード：1/400
 絞り：F10

撮影年月日

令和元年 11月 6日 12:18

図 8.11-10 No. 29 秋保神社

	<p>春季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/500 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 5 月 24 日 9:32</p> <p><u>撮影位置</u></p> <p>経度:140.79549 緯度: 38.34115</p>
	<p>夏季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/500 絞り：F14</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 7 月 31 日 10:24</p>
	<p>秋季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/640 絞り：F13</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 10 月 23 日 10:53</p>

図 8.11-11 No. 30 根白石憩いの家

	<p>春季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/500 絞り：F11</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 5月 24日 10:00</p> <p><u>撮影位置</u></p> <p>経度：140.78206 緯度：38.33090</p>
	<p>夏季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/640 絞り：F14</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 7月 31日 10:36</p>
	<p>秋季</p> <p><u>撮影情報</u></p> <p>ニコン D5500 焦点距離：19mm シャッタースピード：1/640 絞り：F13</p> <p><u>撮影年月日</u></p> <p>令和元年 10月 23日 10:43</p>

図 8.11-12 No. 31 住吉台四丁目公園



春季

撮影情報

ニコン D5500
 焦点距離：19mm
 シャッタースピード：1/500
 絞り：F11

撮影年月日

令和元年 5月 24日 11:35

撮影位置

経度：140.68107
 緯度：38.29794



夏季

撮影情報

ニコン D5500
 焦点距離：19mm
 シャッタースピード：1/400
 絞り：F10

撮影年月日

令和元年 8月 17日 15:20



秋季

撮影情報

ニコン D5500
 焦点距離：19mm
 シャッタースピード：1/400
 絞り：F10

撮影年月日

令和元年 11月 6日 13:37

図 8.11-13 No. 34 熊ヶ根駅

8.11.2 予測

(1) 存在による影響（改変後の地形、樹木伐採後の状態及び工作物の出現）

1) 予測内容

予測内容は、工作物等の出現に伴う自然的景観及び文化的景観資源への影響並びに主要な眺望点への影響を予測した。

2) 予測地域等

予測地域は、調査地域と同じとした。

予測地点は、調査結果から表 8.11-9 に示すとおり送電鉄塔とともに視認される可能性がある景観資源として4地点、観光客や生活の場などの不特定多数の人から眺望される地点として6地点とした。

表 8.11-9 景観資源及び眺望点の予測地点

区分	No.	名称
自然的景観資源	2	白岩(上流)
	5	戸神山
	7	広瀬川中流熊ヶ根棒目木間
	8	大倉川大倉ダム下流
眺望点	24	秋保大滝パノラマの道付近
	27	大倉ダム(大倉湖畔公園)
	29	秋保神社
	30	根白石
	31	住吉台
	34	熊ヶ根

3) 予測対象時期

工事が完了し、施設（鉄塔、電線）完成後とした。

4) 予測方法

ア. 景観資源

景観資源について、施設完成後の景観資源の変化及びフォトモンタージュにより眺望景観の変化の程度を予測した。

イ. 眺望景観

眺望景観について、施設完成後のフォトモンタージュにより眺望景観の変化の程度を予測した。

5) 予測結果

施設完成後のフォトモンタージュは、図 8.11-14～33 に示すとおりである。

ア. 景観資源

① No.2 白岩（上流）

景観資源としては「断崖・絶壁—比高 60mの凝灰岩」であるが、事業実施による土地の改変等の景観資源の直接影響はない。また、景観資源と鉄塔がともに視認できる場所は、県道 62 号の一部の限定された場所であり、現状でも景観資源を挟むように既設鉄塔が存在する。将来は景観資源とともに中央に No. 35 鉄塔、右側に No. 36 鉄塔が視認されることにより眺望景観の変化による景観資源への影響があると考えられる。

② No.5 戸神山

景観資源としては「非火山性孤峰」であるが、事業実施による土地の改変等の景観資源の直接影響はない。また、将来は景観資源の左側に既設鉄塔とともに No. 27～29 鉄塔が視認される。見込角は現状の「景観的に気にならない」とされる約 1° から、「シルエットになっている場合にはよく見え、場合によっては景観的にやや気になりだす。」とされる約 2° になることから、光線の加減によっては眺望景観の変化による景観資源への影響があると考えられる。

③ No.7 広瀬川中流熊ヶ根棒目木

景観資源としては「峡谷・溪谷」であるが、事業実施による土地の改変等の景観資源の直接影響はない。また、将来は景観資源の左側に No. 23 鉄塔の上部が視認されるが、既設鉄塔が存在し眺望景観の変化の程度は小さいことから、景観資源への影響は小さいものと考えられる。

④ No.8 大倉川大倉ダム下流

景観資源としては「峡谷・溪谷」であるが、事業実施による土地の改変等の景観資源の直接影響はない。また、将来は景観資源の左側に No. 16 鉄塔の上部がわずかに視認されるが、右側に既設鉄塔の上部が視認されており、眺望景観の変化の程度は小さいことから、景観資源への影響は小さいものと考えられる。

イ. 眺望景観

① No.24 秋保大滝パノラマの道付近

秋保大滝パノラマの道に至る秋保大橋からは No. 35、36、37、38 鉄塔が視認されるが、中景として既設鉄塔と重なって視認されることから眺望景観の変化の程度は小さいこと、見込角 1.4° と「景観的には気になりだすが、景観融和塗色がされている場合は、ほとんど気にならない」とされる 2° を下回っていることから眺望景観への影響は小さいものと考えられる。

② **No.27 大倉ダム（大倉湖畔公園）**

大倉湖畔公園から近景の木々の間から既設鉄塔とあわせて No. 15 鉄塔が視認されると予測される。見込角は 3.0° と「比較的細部まで見えるようになり、気になりだす。圧迫感を受けない」に該当することから、眺望景観への変化による景観資源への影響があると考えられる。

③ **No.29 秋保神社**

眺望点からは、周辺の木々の背後となり鉄塔は視認されず、眺望景観への影響はない。

④ **No.30 根白石**

眺望点から No. 1～16 鉄塔が視認されるが、遠景として既設鉄塔とともに視認され、眺望景観の変化の程度は小さいこと、見込角は「景観的にはほとんど気にならない」とする約 1° と小さいことから、眺望景観への影響は小さいものと考えられる。

⑤ **No.31 住吉台**

眺望点から No. 5、6、7、8、9、11 鉄塔が視認されるが、遠景として既設鉄塔とともに視認され、眺望景観の変化の程度は小さいこと、見込角は 1.4° と「景観的には気になり出すが、景観融和塗色がされている場合は、ほとんど気にならない」とされる約 2° を下回っていることから、眺望景観への影響は小さいものと考えられる。

⑥ **No.34 熊ヶ根**

眺望点から右側に No. 22 鉄塔が視認されるが、近・中景として既設の電柱や鉄塔などの人口構造物とともに視認されることから眺望景観の変化の程度は小さく、眺望景観への影響は小さいものと考えられる。



- 注) 1. 上段の写真は、フォトモンタージュ前の写真である。
2. 下段の図中番号は、鉄塔 No. である。

図 8.11-14 フォトモンタージュ (No. 2 白岩(上流)(春季))



注) 1. 上段が夏季、下段が秋季のフォトモンタージュである。
2. 図中番号は、鉄塔 No. である。

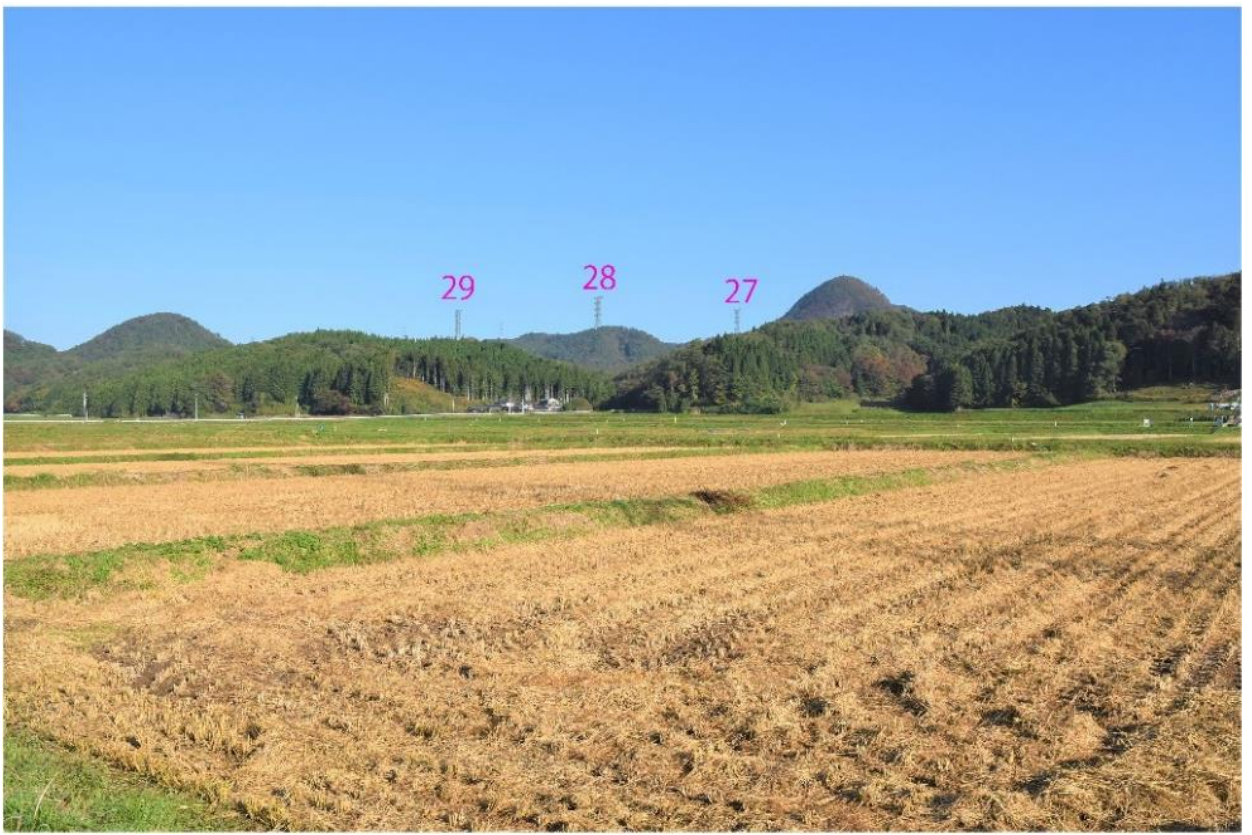
図 8.11-15 フォトモンタージュ (No. 2 白岩(上流)(夏季・秋季))



注) 1. 上段の写真は、フォトモンタージュ前の写真である。

2. 下段の図中番号は、鉄塔 No. である。

図 8.11-16 フォトモンタージュ (No. 5 戸神山(春季))



- 注) 1. 上段が夏季、下段が秋季のフォトモンタージュである。
2. 図中番号は、鉄塔 No. である。

図 8.11-17 フォトモンタージュ (No. 5 戸神山(夏季・秋季))